

2020年3月期 決算実績 概況資料

2020年5月26日

株式会社西武ホールディングス（9024）
<https://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2020年3月期の主な取り組み

P8

III. セグメント情報及び営業指標

P11

IV. 決算実績詳細

P24

V. 2021年3月期 連結業績予想

P31

VI. 当期・次期の配当

P33

2020年3月期 決算実績

(金額単位：億円)

	2019/3期 実績	2020/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2020/3期 予想※2	対予想 (増減額・率)	
営業収益	5,659	5,545	△ 113	△ 2.0%	5,738	△ 192	△ 3.3%
営業利益	733	568	△ 165	△ 22.5%	675	△ 106	△ 15.8%
償却前営業利益※1	1,273	1,145	△ 127	△ 10.0%	1,257	△ 111	△ 8.9%
経常利益	654	487	△ 166	△ 25.4%	592	△ 104	△ 17.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	454	46	△ 407	△ 89.7%	400	△ 353	△ 88.3%

※1 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。 ※2 2020年2月6日公表予想

決算実績ポイント

■ 営業収益

第3四半期までは、台風19号等の自然災害の影響を受けたものの、ホテル業のRevPAR上昇、ハワイ事業の収益向上、鉄道旅客運輸収入の増加などにより増収
第4四半期に新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたことにより通期では減収

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前期比△0.9% (定期+0.6%、定期外△2.2%)

<ホテル業>

RevPAR 11,636円 (前期比△6.4%)

シティ 12,566円 (同△6.7%)、リゾート 9,757円 (同△5.4%)

■ 営業利益・経常利益

減収による減益に加え、減価償却費や販管費が増加したことなどにより減益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

上記要因に加え、減損損失を計上したことなどにより前期比△407億円

▶ 4ページ

▶ 12ページ

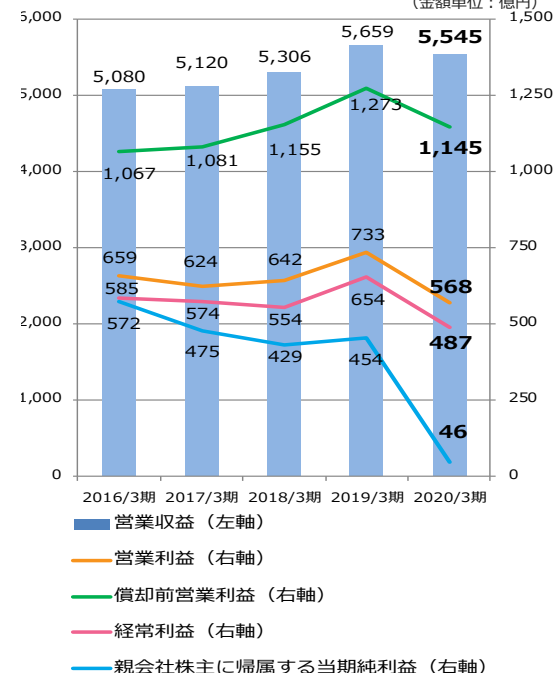
▶ 14ページ

▶ 5・25ページ

▶ 24・25ページ

業績の推移

(金額単位：億円)



新型コロナウイルス感染拡大の影響

(金額単位：億円)

	営業収益への 影響額（概算）	営業利益への 影響額（概算）	摘要
都市交通・沿線事業	△ 36	△ 30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出自粛による鉄道・バスの運輸収入の減少 ・ 西武園ゆうえんち・としまえんなど沿線レジャー施設の営業休止 ・ イベント自粛による横浜アリーナの稼働日数の減少
ホテル・レジャー事業	△ 152	△ 115	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル業における宿泊や宴会、食堂の利用の減少 ・ 横浜・八景島シーパラダイスなどの営業休止
不動産事業	△ 3	△ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅利用者の減少による駅ナカコンビニ「トモニー」来店者数の減少 ・ 外出自粛や営業時間の短縮による商業施設利用者の減少
その他	△ 15	△ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西武ライオンズにおける開幕戦の延期、オープン戦の無観客開催 ・ 伊豆箱根事業および近江事業における鉄道・バスの運輸収入の減少など
合計	△ 206	△ 153	

セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2019/3期 実績	2020/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2020/3期 予想*	対予想 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
都市交通・沿線事業	1,630	1,611	△ 19	△ 1.2%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) 雇用情勢の堅調な推移による定期旅客運輸収入の増加(第3四半期まで) (+) 特急等の料金収入の増加、ムーミンバレーパークの開業などによる定期外旅客運輸収入の増加(第3四半期まで)	1,647	△ 35	△ 2.1%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
ホテル・レジャー事業	2,198	2,091	△ 106	△ 4.8%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (-) 台風19号などの自然災害の影響 (+) 大型連休の行楽需要やラグビーワールドカップ開催に伴う需要の取込み (+) StayWell社において前期に事業取得したABホテルズLtdの収益寄与	2,229	△ 137	△ 6.2%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
不動産事業	696	663	△ 33	△ 4.8%	(-) 分譲マンション引渡し戸数の減少 (-) 前期のリゾート土地販売の反動減 (-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) ダイアゲート池袋の開業	665	△ 1	△ 0.2%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
建設事業	1,096	1,117	+ 20	+ 1.9%	(+) 民間住宅工事の増加 (+) 造園請負工事や建材の仕入販売の増加 (-) 前期の大型リノベーション工事の反動減	1,137	△ 19	△ 1.7%	(-) 建築工事や土木工事の進捗差異
ハワイ事業	190	224	+ 33	+ 17.8%	(+) プリンス ワイキキ、マウナケアビーチホテルにおけるRevPAR上昇および飲食部門の客数増加 (+) 前期にリニューアルオープンしたウェスティンハプナビーチリゾートの収益向上への寄与	224	+ 0	+ 0.4%	
その他	419	415	△ 3	△ 0.9%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) 西武ライオンズにおける各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景とした観客動員数の増加 (+) メットライフドームにおけるコンサート等の貸会場収入の増加	428	△ 12	△ 2.9%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
調整額	△ 573	△ 578	△ 5	—		△ 592	+ 13	—	
連結数値	5,659	5,545	△ 113	△ 2.0%		5,738	△ 192	△ 3.3%	

※ 2020年2月6日公表予想

2020年5月26日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2019/3期	2020/3期	対前期		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2020/3期	対予想		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
	実績	実績	(増減額・率)			予想*	(増減額・率)		
都市交通・沿線事業	270	233	△ 37	△13.7%	(-) 営業収益の減少 (-) 鉄道事業部門における人件費や、 一般管理費などの費用の増加	252	△ 18	△ 7.3%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) 鉄道事業部門における費用の減少など
ホテル・レジャー事業	197	80	△ 116	△59.2%	(-) 営業収益の減少 (-) 販管費の増加	175	△ 94	△ 54.0%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) 人件費などのコストコントロール
不動産事業	200	181	△ 19	△9.7%	(-) 営業収益の減少 (-) ダイヤゲート池袋開業に伴う減価償却費の増加	179	+2	+ 1.4%	(+) 水道光熱費や修繕費の減少 (-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
建設事業	58	56	△ 2	△4.3%	(-) 建設業における間接工事部門費や一般管理費の増加	53	+3	+ 6.4%	(+) 土木工事やリノベーション工事の利益率の上振れ
ハワイ事業	△ 13	5	+18	-	(+) 営業収益の増加	5	+0	+2.4%	
その他	12	6	△ 6	△51.8%	(-) 営業収益の減少 (-) メットライフドームエリア改修計画にかかる減価償却費などの費用の増加	5	+1	+ 20.9%	(+) 西武ライオンズにおけるプロモーション費用などの減少 (-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
調整額	6	5	△ 1	△21.7%		6	△ 0	△16.4%	
連結数値	733	568	△ 165	△22.5%		675	△ 106	△ 15.8%	

■ 償却前営業利益

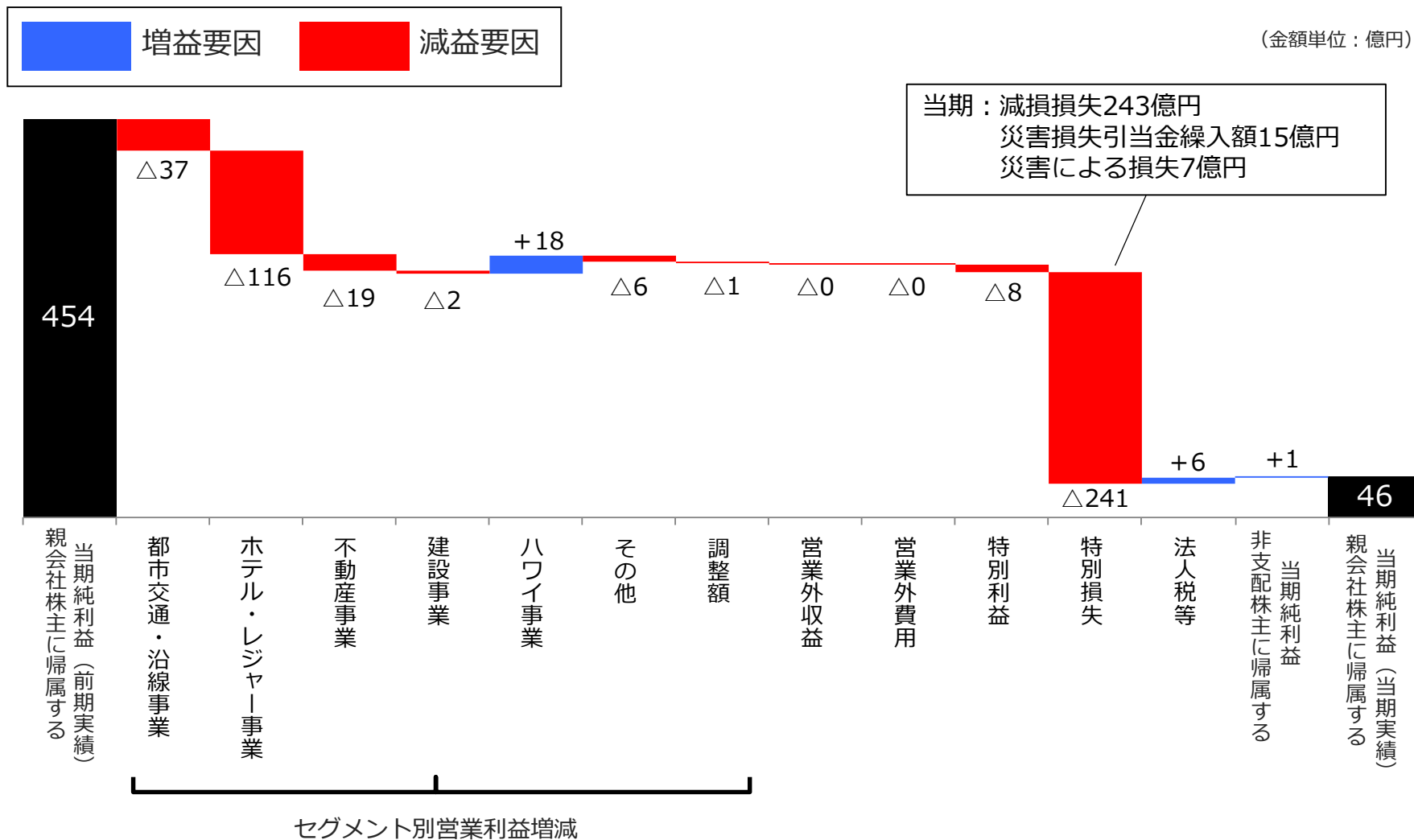
(金額単位：億円)

	2019/3期	2020/3期	対前期		摘要	2020/3期	対予想		摘要
	実績	実績	(増減額・率)			予想*	(増減額・率)		
都市交通・沿線事業	487	454	△ 32	△6.8%		475	△ 20	△ 4.3%	
ホテル・レジャー事業	360	254	△ 106	△29.5%		346	△ 91	△ 26.5%	
不動産事業	304	299	△ 4	△1.6%		297	+2	+ 0.8%	
建設事業	63	60	△ 2	△3.6%		58	+2	+ 5.0%	
ハワイ事業	12	32	+20	+173.1%		32	+0	+ 2.9%	
その他	43	40	△ 3	△7.1%		39	+1	+ 2.7%	
調整額	2	3	+0	+36.2%		10	△ 6	△68.5%	
連結数値	1,273	1,145	△ 127	△10.0%		1,257	△ 111	△ 8.9%	

※ 2020年2月6日公表予想

親会社株主に帰属する当期純利益 増減要因

営業利益は165億円の減益。減損損失などの特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比△407億円（△89.7%）となった。（24・25ページ参照）



I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期の主な取り組み	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P11
IV. 決算実績詳細	P24
V. 2021年3月期 連結業績予想	P31
VI. 当期・次期の配当	P33

2020年3月期の主な取り組み

全体

- コーポレート・ガバナンス強化の観点から、取締役に対する新たな株式報酬制度を導入（2019年6月21日）
- 環境負荷低減に向けた新たな取り組みを進めるため、西武グループ環境方針を策定（2019年11月1日）
- 新型省エネ車両の導入および太陽光発電所建設事業の一部の資金調達においてグリーンボンド（ホールセール債）を発行（2019年12月）
- 西武ホールディングスの株主優待制度を拡充（2020年5月発送予定分より）

都市交通・沿線事業

- 西武新宿駅のリニューアル工事が完成し、西武鉄道では2カ所目の訪日外国人向け観光案内所オープン（2019年4月1日）
- 001系「Laview」がグッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）（2019年10月31日）・iFデザインアワード2020（2020年2月14日）をそれぞれ受賞
- 練馬駅（2019年11月5日）、西武新宿駅（2020年3月11日）でホームドアの使用を開始
- 西武鉄道が株式会社 刀と協業し、西武園ゆうえんちのリニューアル。コンセプトは「心あたたまる幸福感に包まれる世界」（2021年開業予定）
- 西武鉄道沿線レジャー施設（としまえん、西武園ゆうえんちなど）で、使い捨てプラスチック製ストローを順次廃止（2019年5月下旬以降）
- AI 通訳機「POCKETALK®」を西武線全駅・特急電車に導入（2019年11月より）
- 西武バスと群馬大学が自動運転技術の社会実装にむけた共同研究契約を締結（2020年3月5日）

ホテル・レジャー事業

- 初の会員制リゾートとして、「プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間」、「プリンス バケーション クラブ ヴィラ軽井沢浅間」を開業（2019年7月8日）
- 伊豆長岡温泉 三養荘バリューアップ実施。別館客室8室は会員制旅館「プリンス バケーション クラブ 三養荘」としてリニューアル（2019年7月17日開業）
- 次世代型宿泊特化ホテル「プリンス スマート イン」を熱海・京都・那覇で開業を決定。「プリンスホテル」ブランドのホテルを宜野湾市で開業を決定。

2020年3月期の主な取り組み

ホテル・レジャー事業

- グローバルラグジュアリーブランド第1号店「The Prince Akatoki London」を開業（2019年9月16日）
- 元京都市立清水小学校跡地を活用したホテル「The Hotel Seiryu Kyoto Kiyomizu（日本語表記：ザ・ホテル青龍 京都清水）」を開業（2020年3月22日）
- 横浜八景島が台湾桃園市に建設中の水族館名称を「Xpark」に決定
- サステナビリティアクション推進の取り組みとして、世界的な問題となっている食品ロスに対し、「食品ロス削減に向けた実施計画」を策定（2019年5月16日）
- 日南海岸 南郷プリンスホテル、埼玉西武ライオンズをコンセプトにホテルリニューアルが完了（2020年1月30日）
- 5つのプリンスホテルが「フォーブス・トラベルガイド2020」で4つ星獲得、国内で最も多く星を獲得するホテルチェーンに（2020年2月12日）

不動産事業

- ダイアゲート池袋が開業（2019年4月）
- 東長崎駅南口に賃貸住宅・商業施設・保育所からなる複合施設竣工。沿線で計6カ所目となる駅チカ賃貸住宅「エミリブ東長崎」入居開始(2019年9月)
- 当社グループで初めてとなるシェアオフィス事業「emiffice（エミフィス）」の1号物件として「エミフィス練馬」を練馬駅構内にオープン（2019年9月）
- 2020年9月上旬に開業予定の「グランエミオ所沢（Ⅱ期）」のキーテナント9店舗を決定（2020年2月25日）

その他

- メットライフドームエリア改修計画を推進。「ライオンズ チームストア フラッグス」開業、「新室内練習場・若獅子寮」「オフィス棟」使用開始（2019年7月）
- 埼玉西武ライオンズが2年連続23度目のパシフィック・リーグ優勝（2019年9月）
- 埼玉西武ライオンズが球団初の公式スマートフォンアプリをリリース（2020年2月14日）

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期の主な取り組み	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P11
IV. 決算実績詳細	P24
V. 2021年3月期 連結業績予想	P31
VI. 当期・次期の配当	P33

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	163,088	161,168	△ 1,919	△1.2%	
鉄道業	106,549	106,488	△ 60	△0.1%	(-) 旅客運輸収入の減少 (12ページ参照) (+) 西武電設工業の増収
バス業	26,351	25,847	△ 504	△1.9%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (-) 高速バスの一部路線の運行からの撤退 (+) 路線バスにおける定期券収入の堅調な推移
沿線レジャー業	22,551	21,590	△ 960	△4.3%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (-) 狭山スキー場の営業休止や沿線レジャー施設における天候不順の影響
その他	7,636	7,242	△ 393	△5.2%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (横浜アリーナ稼働日数の減少など)
営業利益	27,087	23,367	△ 3,719	△13.7%	(-) 営業収益の減少 (-) 鉄道事業部門における人件費や、一般管理費などの費用の増加
償却前営業利益	48,765	45,472	△ 3,292	△6.8%	【西武鉄道 鉄道事業部門費用】(対前期増減) ・人件費 27,192 (+614) ・修繕費 7,967 (+220) ・動力費 6,211 (△189) ・減価償却費 16,261 (+295) ・固定資産除却費 1,262 (+476)

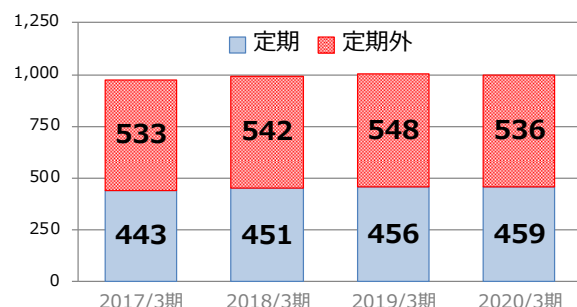
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2017/3期	2018/3期	対前期 増減率	2019/3期	対前期 増減率	2020/3期	対前期 増減率
輸送人員	定期	405,526	+1.8%	417,162	+1.1%	419,719	+0.6%
	定期外	242,893	+1.3%	248,080	+0.9%	242,268	△ 2.3%
	計	648,420	+1.6%	665,242	+1.0%	661,988	△ 0.5%
旅客運輸 収入	定期	44,333	+1.8%	45,638	+1.1%	45,912	+0.6%
	定期外	53,356	+1.6%	54,895	+1.3%	53,668	△ 2.2%
	計	97,690	+1.7%	100,533	+1.2%	99,580	△ 0.9%
運輸雑収	4,021	4,097	+1.9%	3,997	△ 2.4%	4,070	+1.8%
収入合計	101,711	103,445	+1.7%	104,530	+1.0%	103,651	△ 0.8%

（単位：億円） 旅客運輸収入の推移



2020年5月26日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

■ 定期

- ・雇用情勢の堅調な推移などにより増加（第3四半期まで）
- ・新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響（定期券の買い控え等）により減少（第4四半期）

■ 定期外

- ・台風19号の影響による計画運休があったものの、特急等の料金収入の増加、ムーミンバレーパークの開業、メットライフドームでのコンサート開催数の増加、大型連休の行楽需要の取込みなどにより増加（第3四半期まで）
- ・新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響により減少（第4四半期）

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	219,801	209,153	△ 10,647	△4.8%	
ホテル業 (シティ)	128,079	120,015	△ 8,064	△6.3%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) 大型連休の行楽需要の取込み (+) ラグビーワールドカップ開催に伴う需要の取込み
ホテル業 (リゾート)	42,185	40,183	△ 2,002	△4.7%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (-) 台風19号などの自然災害の影響 (+) 大型連休の行楽需要の取込み (+) プリンズ パケーション クラブの開業
ゴルフ場業	12,783	12,294	△ 489	△3.8%	(-) 台風19号などの自然災害の影響 (-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響
その他	36,751	36,660	△ 91	△0.2%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (横浜・八景島シーパラダイスなど) (+) StayWell社において前期に事業取得したABホテルズLtdの収益寄与 【StayWell社 ホテル運営数】 2020/3期末時点 28、2019/3期末時点 25
営業利益	19,741	8,054	△ 11,687	△59.2%	(-) 営業収益の減少
償却前営業利益	36,077	25,434	△ 10,642	△29.5%	(-) 販管費の増加

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

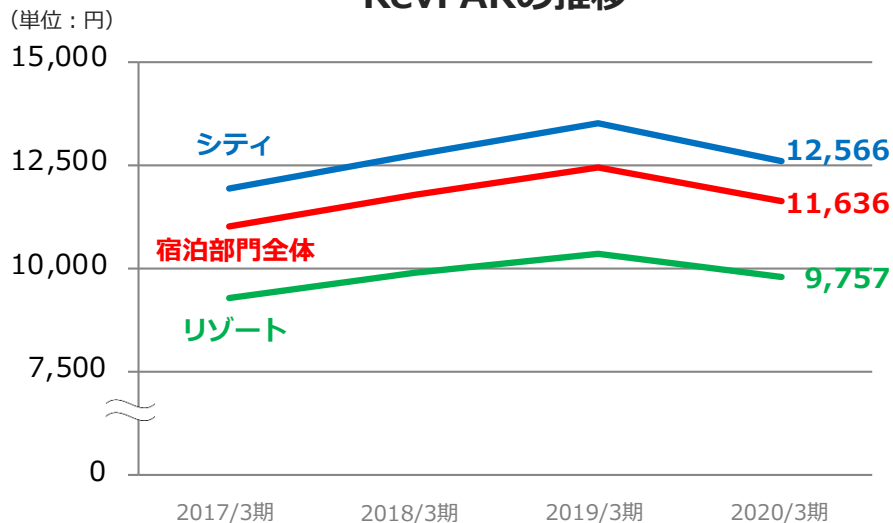
(RevPAR・平均販売室料：円)

	2017/3期	2018/3期	対前期 増減率	2019/3期	対前期 増減率	2020/3期	対前期 増減率	
RevPAR	シティ	11,911	12,732	+6.9%	13,473	+5.8%	12,566	△ 6.7%
	高輪・品川エリア	12,873	13,354	+3.7%	13,811	+3.4%	12,474	△ 9.7%
	リゾート	9,243	9,889	+7.0%	10,319	+4.3%	9,757	△ 5.4%
	軽井沢エリア	19,376	20,980	+8.3%	22,085	+5.3%	20,585	△ 6.8%
	宿泊部門全体	10,980	11,786	+7.3%	12,435	+5.5%	11,636	△ 6.4%
平均販売室料	シティ	14,873	15,196	+2.2%	15,845	+4.3%	16,089	+1.5%
	高輪・品川エリア	14,808	14,830	+0.1%	15,397	+3.8%	15,487	+0.6%
	リゾート	16,198	16,208	+0.1%	16,439	+1.4%	16,401	△ 0.2%
	軽井沢エリア	30,894	31,713	+2.7%	30,529	△ 3.7%	29,811	△ 2.4%
	宿泊部門全体	15,239	15,466	+1.5%	16,003	+3.5%	16,174	+1.1%
客室稼働率	シティ	80.1%	83.8%	+3.7pt	85.0%	+1.2pt	78.1%	△ 6.9pt
	高輪・品川エリア	86.9%	90.0%	+3.1pt	89.7%	△ 0.4pt	80.5%	△ 9.1pt
	リゾート	57.1%	61.0%	+4.0pt	62.8%	+1.8pt	59.5%	△ 3.3pt
	軽井沢エリア	62.7%	66.2%	+3.4pt	72.3%	+6.2pt	69.1%	△ 3.3pt
	宿泊部門全体	72.1%	76.2%	+4.2pt	77.7%	+1.5pt	71.9%	△ 5.8pt

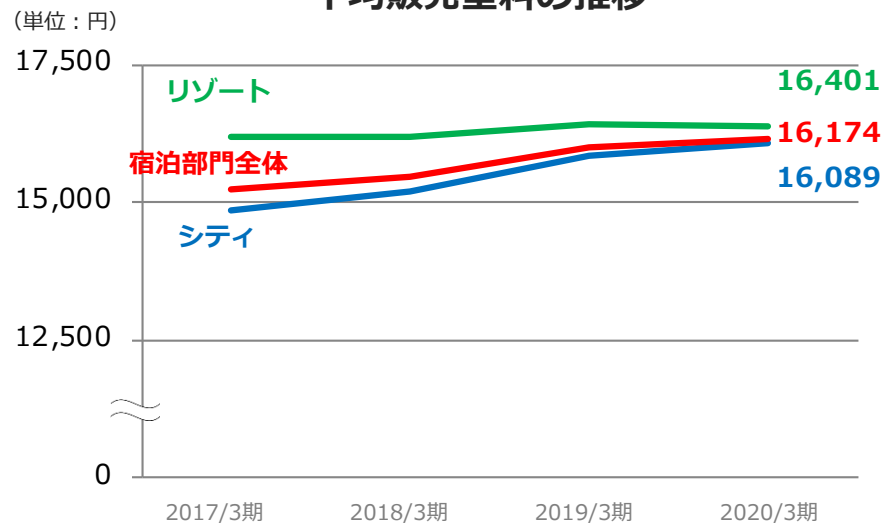
(注) 高輪・品川エリア：ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル
 軽井沢エリア：ザ・プリンス 軽井沢、ザ・プリンス ヴィラ軽井沢、軽井沢プリンスホテル

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

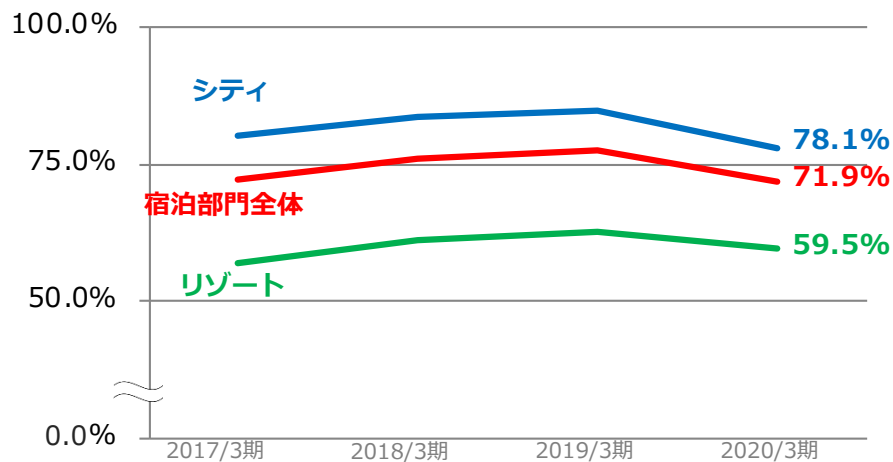
RevPARの推移



平均販売室料の推移



客室稼働率の推移

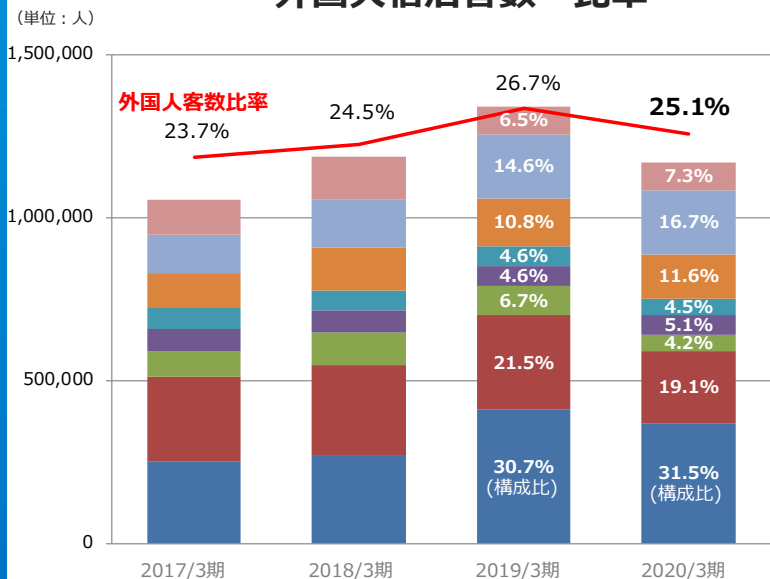


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

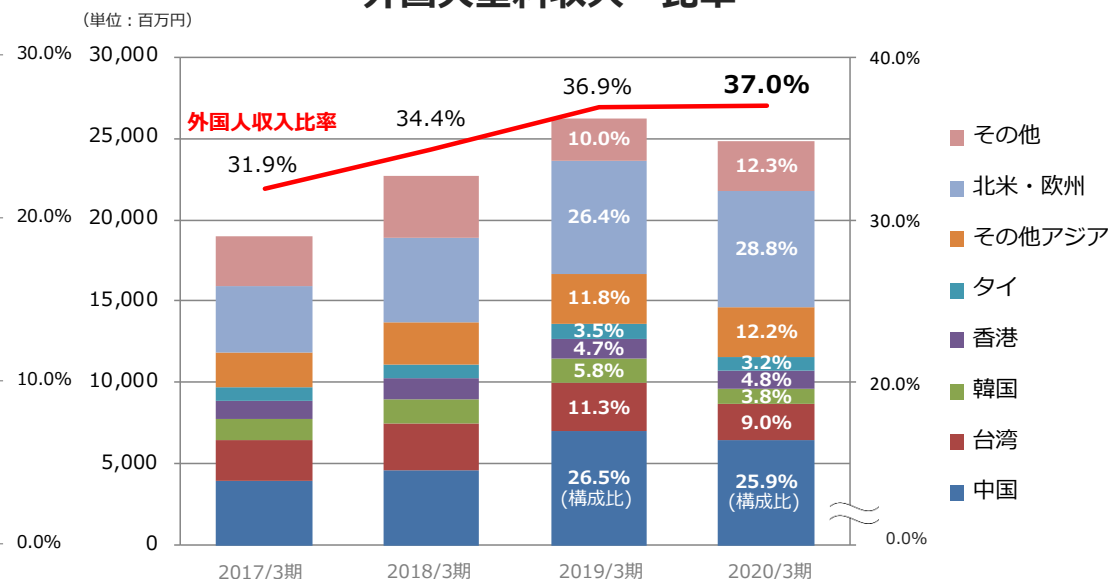
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2017/3期	2018/3期	対前期 増減率	2019/3期	対前期 増減率	2020/3期	対前期 増減率
宿泊客数 の内訳	邦人客	3,401,013	3,652,410	+7.4%	3,678,164	+0.7%	3,481,011	△ 5.4%
	外国人客	1,056,658	1,186,777	+12.3%	1,342,145	+13.1%	1,168,839	△ 12.9%
	計	4,457,671	4,839,187	+8.6%	5,020,309	+3.7%	4,649,850	△ 7.4%
室料収入	外国人客	18,999	22,742	+19.7%	26,259	+15.5%	24,803	△ 5.5%

外国人宿泊客数・比率

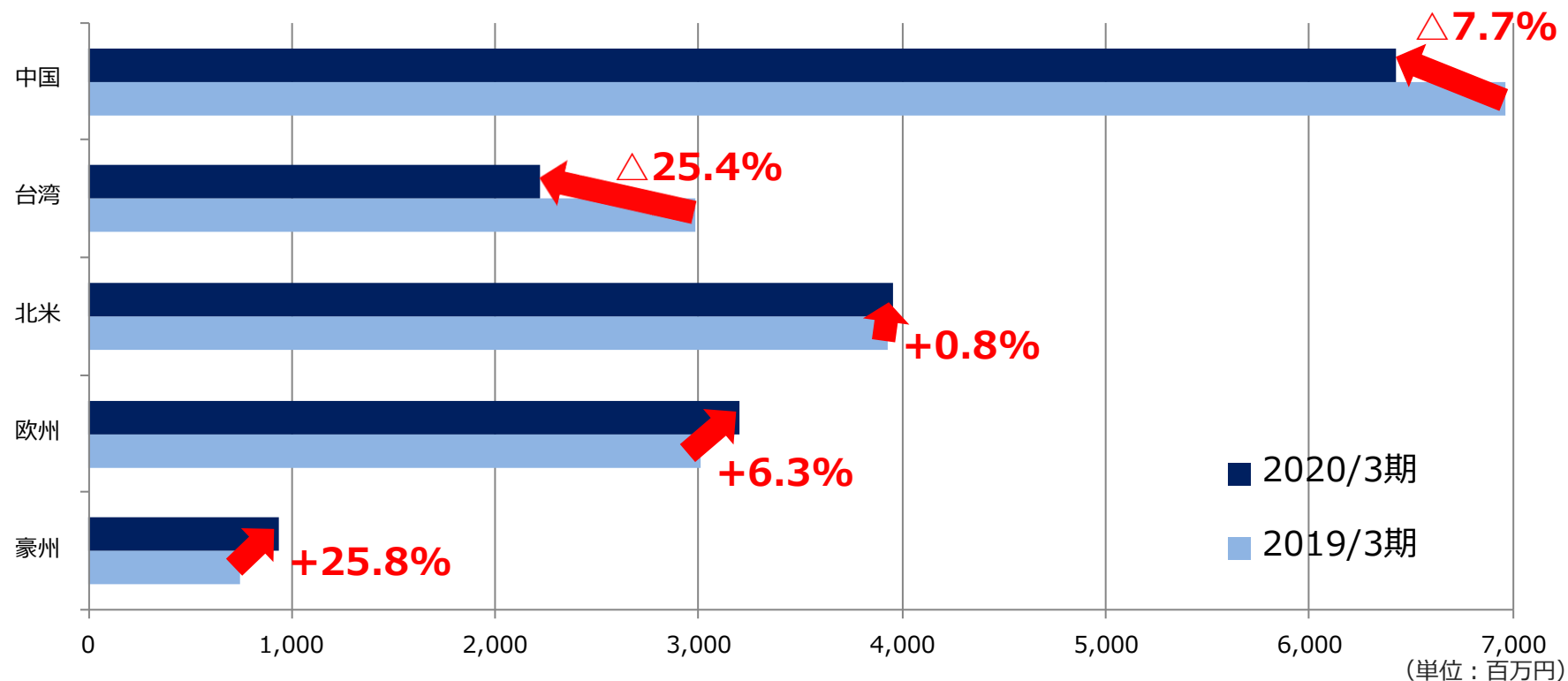


外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

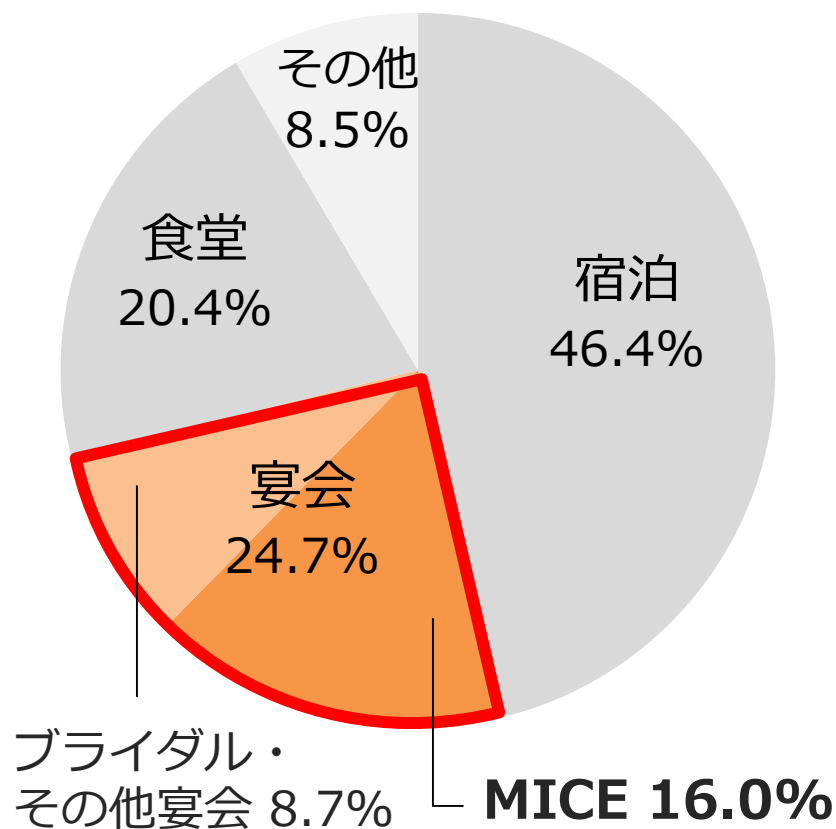
■ 主な国・地域の外国人室料収入



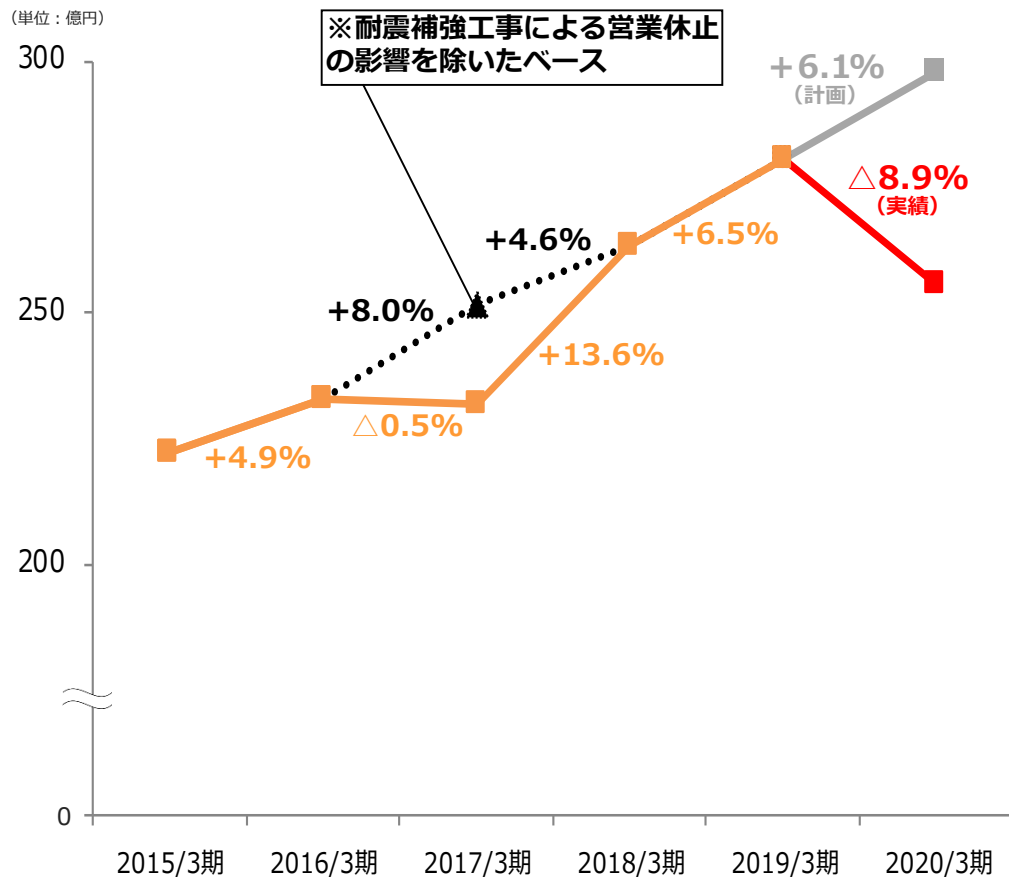
- ・ 北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域が増加。台湾など東アジアの一部地域は減少（第3四半期まで）
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う渡航禁止などの影響により、全ての地域において減少（第4四半期）

ホテル・レジャー事業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2020年3月期)



■ MICE売上高の推移



- ・一部の業界においてミーティング需要の減少が見られ、伸び率が鈍化 (第3四半期まで)
- ・新型コロナウイルス感染拡大により需要が大幅に減少し、MICE売上高が減少 (第4四半期)

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	69,651	66,340	△ 3,310	△4.8%	
不動産賃貸業	46,652	48,528	+1,875	+4.0%	(+) ダイヤゲート池袋の開業 (-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響(商業施設)
その他	22,998	17,812	△ 5,185	△22.5%	(-) 分譲マンション引渡し戸数の減少 (-) 前期のリゾート土地販売の反動減 (-) 保険販売代理手数料収入の減少 (-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響(トモニー)
営業利益	20,095	18,146	△ 1,949	△9.7%	(-) 営業収益の減少
償却前営業利益	30,420	29,924	△ 495	△1.6%	(-) ダイヤゲート池袋開業に伴う減価償却費の増加

(面積：千㎡)

		2017/3期	2018/3期	対前期	2019/3期	対前期	2020/3期	対前期
建物賃貸物件	商業施設	239	244	+4	244	+0	246	+2
の期末貸付面積	オフィス・住宅	166	172	+5	184	+11	208	+24
建物賃貸物件	商業施設	0.7%	1.1%	+0.4pt	1.0%	△ 0.1pt	1.0%	△ 0.1pt
の期末空室率	オフィス・住宅	3.1%	1.9%	△ 1.2pt	11.0% [※]	+9.1pt	2.0%	△ 9.0pt

(注) 土地の賃貸は含んでおりません

※ ダイヤゲート池袋の竣工による一時的な上昇

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
			(増減額)	(率)	
営業収益	109,690	111,771	+2,081	+1.9%	
建設業	81,484	80,252	△ 1,231	△1.5%	(-) 前期の大型リノベーション工事の反動減 (+) 民間住宅工事の増加
その他	28,206	31,519	+3,313	+11.7%	(+) 造園請負工事や建材の仕入販売の増加
営業利益	5,890	5,637	△ 253	△4.3%	
償却前営業利益	6,315	6,088	△ 226	△3.6%	(-) 建設業における間接工事部門費や一般管理費の増加

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	対前期	2019/3期	対前期	2020/3期	対前期
期首繰越高	99,069	89,755	△ 9,313	100,542	+10,787	88,975	△ 11,567
期中受注高	79,080	84,599	+5,518	69,527	△ 15,071	68,793	△ 734
期末繰越高	89,755	100,542	+10,787	88,975	△ 11,567	77,871	△ 11,103

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
					(+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	19,089	22,485	+3,396	+17.8%	(+) プリンズ ワイキキ、マウナ ケア ビーチ ホテル におけるRevPAR上昇および飲食部門の客数増加 (+) 前期にリニューアルオープンしたウェスティン ハプナ ビーチ リゾートの収益向上への寄与
営業利益	△ 1,377	511	+1,888	—	(+) 営業収益の増加
償却前営業利益	1,206	3,293	+2,087	+173.1%	

ホテルの営業指標

	2017/3期	2018/3期	対前期 増減率	2019/3期	対前期 増減率	2020/3期	対前期 増減率
RevPAR (円)	19,247	18,465	△ 4.1%	26,162	+41.7%	32,123	+22.8%
RevPAR (米ドル)	174.97	175.86	+0.5%	227.49	+29.4%	279.33	+22.8%
平均販売室料 (円)	27,815	30,539	+9.8%	35,956	+17.7%	38,782	+7.9%
平均販売室料 (米ドル)	252.86	290.85	+15.0%	312.66	+7.5%	337.23	+7.9%
客室稼働率	69.2%	60.5%	△ 8.7pt	72.8%	+12.3pt	82.8%	+10.0pt

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	41,931	41,547	△384	△0.9%	(-) 新型コロナウイルス感染拡大の影響 (+) 西武ライオンズにおける各種営業施策の実施や 好調なチーム成績を背景とした観客動員数の増加 (+) メットライフドームにおけるコンサート等の貸会場 収入の増加
営業利益	1,252	604	△648	△51.8%	(-) 営業収益の減少
償却前営業利益	4,312	4,005	△307	△7.1%	(-) メットライフドームエリア改修計画にかかる減価償 却費などの費用の増加

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期の主な取り組み	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P11
IV. 決算実績詳細	P24
V. 2021年3月期 連結業績予想	P31
VI. 当期・次期の配当	P33

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期	摘要
営業収益	565,939	554,590	△11,349	都市交通・沿線：△19億円、ホテル・レジャー：△106億円、 不動産：△33億円、建設：+20億円、ハワイ：+33億円、 その他：△3億円、調整額：△5億円
営業利益	73,332	56,823	△16,508	都市交通・沿線：△37億円、ホテル・レジャー：△116億円、 不動産：△19億円、建設：△2億円、ハワイ：+18億円、 その他：△6億円、調整額：△1億円
営業外収益	3,475	3,382	△92	
営業外費用	11,392	11,435	+42	
経常利益	65,415	48,770	△16,644	
特別利益	2,795	1,940	△854	前期：ポスティングに係る入札額受入益11億円
特別損失	7,834	31,938	+24,104	当期：減損損失243億円、災害損失引当金繰入額 15億円、 災害による損失7億円 前期：減損損失24億円
税金等調整前当期純利益	60,376	18,773	△41,603	
法人税等	14,436	13,775	△661	法人税、住民税及び事業税△22億円 法人税等調整額+15億円
当期純利益	45,939	4,998	△40,941	
非支配株主に帰属する当期純利益	482	328	△154	
親会社株主に帰属する当期純利益	45,457	4,670	△40,787	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期	摘要
営業利益	73,332	56,823	△ 16,508	
営業外収益	3,475	3,382	△ 92	
受取利息・配当金	960	959	△ 1	
バス路線運行維持費補助金	952	942	△ 9	
その他営業外収益	1,562	1,480	△ 81	
営業外費用	11,392	11,435	+42	
支払利息	10,136	9,979	△ 156	
持分法による投資損失	67	76	+9	
その他営業外費用	1,188	1,379	+190	
経常利益	65,415	48,770	△ 16,644	
特別利益	2,795	1,940	△ 854	
固定資産売却益	397	286	△ 110	
工事負担金等受入額	714	955	+240	
補助金収入	125	138	+12	
投資有価証券売却益	145	10	△ 134	
条件付対価取崩益	—	284	+284	
ポスティングに係る入札額受入益	1,112	—	△ 1,112	
その他特別利益	298	264	△ 34	
特別損失	7,834	31,938	+24,104	
減損損失	2,413	24,373	+21,959	当期：久邇カントリークラブ119億円、函館大沼プリンスホテル20億円、箱根湯の花プリンスホテル13億円、万座プリンスホテル13億円、竜王ゴルフコース12億円など
固定資産売却損	327	16	△ 311	
固定資産除却損	2,603	3,227	+624	
工事負担金等圧縮額	664	941	+277	
固定資産圧縮損	120	125	+4	
投資有価証券売却損	—	0	+0	
投資有価証券評価損	1,120	813	△ 307	
災害による損失	—	783	+783	
災害損失引当金繰入額	—	1,555	+1,555	
その他特別損失	583	101	△ 481	
税金等調整前当期純利益	60,376	18,773	△ 41,603	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2019/3期 期末	2020/3期 期末	対前期	摘要
資産 合計	1,728,929	1,707,784	△ 21,145	
流動資産	134,512	121,968	△ 12,544	未成工事支出金 △6,738、受取手形及び売掛金 △6,046
固定資産	1,594,417	1,585,816	△ 8,601	投資有価証券 △19,104、退職給付に係る資産 △7,320 有形・無形固定資産 +13,157、繰延税金資産 +6,642
負債 合計	1,306,214	1,334,356	+28,142	
流動負債	367,238	396,336	+29,097	短期借入金 +38,116、前受金 +9,319 支払手形及び買掛金 △3,498、その他 △15,367 (設備投資未払金等の減少)
固定負債	938,976	938,020	△ 955	長期借入金 △17,499、鉄道・運輸機構長期未払金 △3,679 社債 +10,000、退職給付に係る負債 +6,625、リース債務 +2,941
純資産 合計	422,715	373,427	△ 49,287	
自己資本	416,815	367,222	△ 49,592	自己株式 △16,022、退職給付に係る調整累計額 △13,957、 その他有価証券評価差額金 △13,558、利益剰余金 △5,171
有利子負債 期末残高	905,057	934,574	+29,516	
ネット有利子負債	878,508	906,234	+27,725	
自己資本比率	24.1%	21.5%	△ 2.6pt	
D/Eレシオ (倍)	2.2	2.5	+0.3	
ネット有利子負債 / EBITDA倍率 (倍)	6.9	7.9	+1.0	

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、当期よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより原則として、借手におけるすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当期の期首において固定資産のリース資産が4,639百万円、流動負債のリース債務が818百万円、固定負債のリース債務が3,821百万円それぞれ増加しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	対前期	摘要
営業活動キャッシュフロー	88,104	101,458	+13,354	売上債権やたな卸資産の減少など
投資活動キャッシュフロー	△ 73,069	△ 96,655	△ 23,586	
うち有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 78,559	△ 107,951	△ 29,391	当期：ダイヤゲート池袋、メットライフドームエリア改修、新型特急車両など
うち有形及び無形固定資産の売却による収入	1,388	537	△ 851	
うち工事負担金等受入による収入	10,945	10,966	+20	
財務活動キャッシュフロー	△ 17,898	△ 3,025	+14,872	借入金の増加など
現金及び現金同等物の期首残高	29,628	26,269	△ 3,359	
現金及び現金同等物の期末残高	26,269	28,056	+1,787	
フリーキャッシュフロー	15,035	4,802	△ 10,232	
有利子負債残高	905,057	934,574	+29,516	

セグメント別設備投資

(金額単位：百万円)

	2019/3期 実績	2020/3期 実績	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	32,555	40,502	+7,947	<ul style="list-style-type: none"> ・東村山駅付近連続立体交差事業（継続中） ・中井～野方駅間連続立体交差事業（継続中） ・ホームドア整備（継続中） ・新型特急車両新造 ・40000系車両新造 ・所沢駅、ひばりヶ丘駅リニューアル
ホテル・レジャー事業	13,393	16,034	+2,641	<ul style="list-style-type: none"> ・会員制ホテル事業「プリンス バケーション クラブ」（軽井沢浅間・ヴィラ軽井沢浅間・三養荘）開業 ・軽井沢プリンスホテル ウエスト改装（継続中） ・品川プリンスホテル アネックスタワー改装
不動産事業	26,498	13,089	△ 13,409	<ul style="list-style-type: none"> ・前期：ダイヤゲート池袋竣工 ・グランエミオ所沢Ⅱ期（継続中） ・エミリーブ東長崎竣工
建設事業	414	629	+215	
ハワイ事業	3,568	1,271	△ 2,297	<ul style="list-style-type: none"> ・前期：ウェスティン ハプナ ビーチ リゾート全面改装
その他	4,719	14,722	+10,002	<ul style="list-style-type: none"> ・メットライフドームエリア改修（継続中）
調整額	2,167	743	△ 1,423	
設備投資 合計	83,317	86,993	+3,675	

セグメント別減価償却費

(金額単位：百万円)

	2019/3期 実績	2020/3期 実績	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	21,678	22,105	+427	
ホテル・レジャー事業	16,335	17,380	+1,044	在外子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用による増加など
不動産事業	10,324	11,778	+1,453	ダイヤゲート池袋開業による増加など
建設事業	424	450	+26	
ハワイ事業	2,583	2,781	+198	
その他	3,060	3,401	+340	
調整額	△ 1,280	△ 1,184	+96	
減価償却費 合計	53,126	56,713	+3,587	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期の主な取り組み	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P11
IV. 決算実績詳細	P24
V. 2021年3月期 連結業績予想	P31
VI. 当期・次期の配当	P33

2021年3月期 連結業績予想

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、鉄道業、バス業などにおいて外出自粛により利用客が減少しているほか、一部を除きホテルやゴルフ場、レジャー施設などにおいて臨時休業を実施
- 本格的な回復時期が不透明であることを踏まえると、現時点において当社グループの業績に与える影響について合理的な算定をおこなうことが困難であることから、2021年3月期の連結業績予想は未定（今後、予想が可能となった段階で速やかに発表）

2020年4月の主な営業状況

鉄道業の輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

		2019年4月	2020年4月 前年同月比
輸送人員	定期	34,471	△38%程度
	定期外	21,666	△67%程度
	計	56,138	△49%程度
旅客運輸 収入	定期	3,692	△28%程度
	定期外	4,838	△69%程度
	計	8,530	△51%程度

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

（RevPAR・平均販売室料：円、宿泊客数：人）

		2019年4月	2020年4月 前年同月比
RevPAR	シティ	16,470	△95%程度
	リゾート	7,701	△94%程度
	宿泊部門全体	13,628	△95%程度
平均販売室料	シティ	17,882	△26%程度
	リゾート	15,212	△25%程度
	宿泊部門全体	17,325	△26%程度
客室稼働率	シティ	92.1%	△86pt程度
	リゾート	50.6%	△46pt程度
	宿泊部門全体	78.7%	△73pt程度
宿泊客数	邦人客	259,034	△90%程度
	外国人客	132,203	△100%程度
	計	391,237	△94%程度

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期の主な取り組み	P8
III. セグメント情報及び営業指標	P11
IV. 決算実績詳細	P24
V. 2021年3月期 連結業績予想	P31
VI. 当期・次期の配当	P33

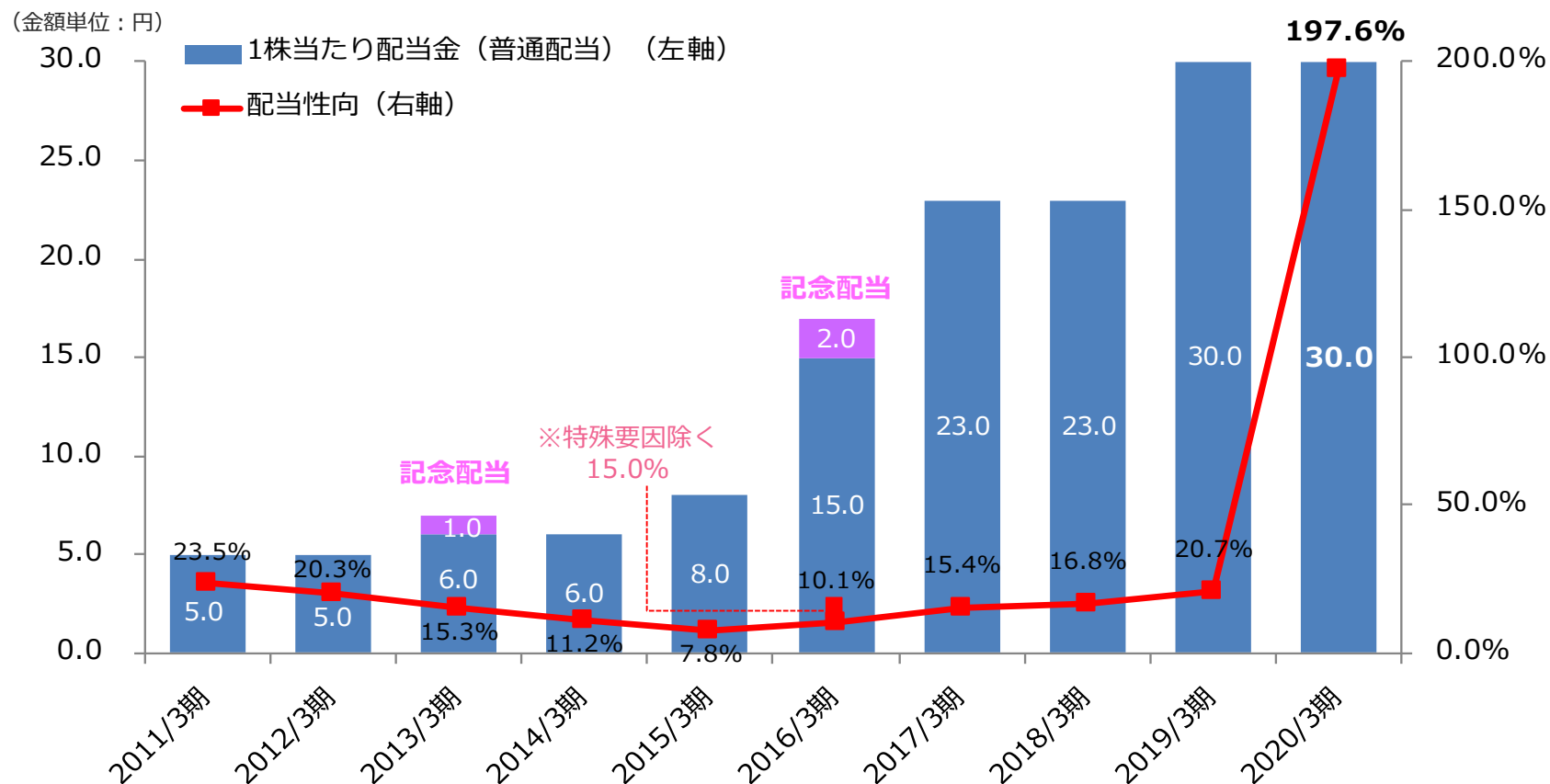
当期・次期の配当

■ 2020年3月期

新型コロナウイルス感染症等による業績への影響があったものの、基本方針及び財務戦略に基づき、期末配当金は1株当たり15円（中間配当金15円を含む年間配当金30円）を予定

■ 2021年3月期

連結業績予想を未定としていることに伴い、配当予想についても未定（今後、予想が可能となった段階で速やかに発表）



ディスクレーム

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

従いまして、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる場合がありますことをご承知おきください。